

第3回川柳中学校学用品検討委員会記録

- 1 日 時：令和7年9月26日（金） 午後1時15分～午後4時40分
- 2 場 所：越谷市役所第二庁舎 3階 教育委員会室
- 3 内 容：・体育着・ジャージ選定プロポーザルにおける審査・採点方法の確認
・各メーカーのプレゼンテーション
・集計結果発表・意見交換(審査講評)
- 4 議 事 録：以下のとおり

発言者	発言内容
(13:15 開始)	
体育着・ジャージ選定プロポーザルにおける審査・採点方法の確認	
事務局	(資料2ページ) 次第に沿って、大きく3点の柱で進めさせていただく。 1点目として、審査・採点方法の確認。2点目として、体育着・ジャージ選定プロポーザル。こちらが本日のメインとなっている。3点目として、集計結果発表・意見交換の流れを予定している。 非常にタイトなスケジュールの中、委員の皆様には審査・採点を行っていただく。この後の議事進行については、委員長にお願いする。
委員長	いよいよ今日は、体育着・ジャージの仕様を決めていく上で重要となる「メーカー選定」を行う。次第の1「審査・採点方法の確認」については事務局からご説明いただく。
事務局	(資料3ページ) 今回、参加表明いただいた事業者が4者、上からトンボ、ギャレックス、明石スクールユニフォームカンパニー、カネマスとなっている。 この後この4者がプレゼンテーションを行う。 (資料4ページ) 13時35分より1者目のメーカーが入室する。その後、メーカーのプレゼンテーションが行われる。プレゼン開始、10分経過、終了3分前、終了1分前、プレゼン終了の合図を事務局が行い、その後、質疑応答に移る。発言の際は、自己紹介等は省き、質問のみ行っていただく。プレゼン同様、開始、終了のアナウンスを事務局が行う。 その後、メーカーが退室する。採点表はプレゼン中、退室時間に記入していただく。全てのメーカーのプレゼン終了後、採点表の最終記入時間を10分設けるので、判断に迷われる項目等はこの時間を使って、記入して

いただく。採点表は最後にまとめて事務局が回収する。

(緑色表紙参考資料 1 ページ)

タイムテーブルに具体的な時間と共に詳細を記載しているので、こちらを適宜ご確認いただきながら、審査・採点を行っていただく。

今回、参加表明のあったメーカーが4者だった。前回会議でお示したタイムテーブルから変更になっており、会議全体の終了時刻は16時40分となっている。

(資料 5 ページと緑色表紙参考資料 2 ページ)

採点は、A・B・C・Dの4段階で記入し、評価の根拠をコメント欄に記入する。事前に配布している採点表には記入例が付いているので参考にさせていただきたい。

また、採点は企画提案書、プレゼンテーションの内容、質疑応答の3つをもとに行う。採点表集計の結果、平均点が最も高い事業者が体育着・ジャージの作製メーカーとなる。平均点が最も高い事業者が複数あった場合は、その事業者の中で、各審査委員による決選投票を行い、メーカーを決定する。

決選投票の際に使用する投票用紙は、参考資料 3 ページのとおりである。こちらは決選投票となった場合に事務局が改めて配布する。

(資料 6 ページ)

前回の会議でも皆様にお伝えしたが、「どういう視点で評価すればいいのか」ということに関して、採点評価表の「評価の視点」を基準にこちらにお示ししているポイントを踏まえて評価していただく。

今回は、「体育着・ジャージの仕様を一緒に考えるメーカー」を選定する。よって、生徒や保護者が求めているものに対応できるかという技術力や、川柳中学校の体育着・ジャージを作るためのアイデアやサポートの引き出しが豊富かという企画提案力、生徒や保護者の意見・要望を吸い上げそれを反映させることができるか、根拠に基づいた提案・説明ができているかという情報収集力などをポイントに、よりよいメーカーを選定するための評価をしていただきたい。

(資料 7 ページ)

評価の際の具体的な例として、例えばプレゼンテーションで提示されたサンプルを見て、「メーカーAの方はデザインが凝っていて今風だったからメーカーAの評価を高くしよう」というのは、評価の方法としては今回の手法にそぐわない形になる。今回は、デザイン選定ではないということ

委員長 事務局	にご留意いただき、プレゼンテーションで提示されたサンプル＝仕様決定ではないということを念頭に置いていただきたい。 今回の選定手法であれば、「メーカーBの方が「方針1～5」の基準を踏まえたデザイン提案ができています。デザインのアイデアが豊富で、検討委員会の意見等を取り入れてデザインを決めていくことができそうだ」という風に評価をしていただきたい。 (資料8ページ) 今回、各メーカーのプレゼンテーションにおいて、質疑応答の時間を5分設けている。質疑のポイントとしては、評価や判断に迷うものがあれば積極的に質問をしていただきたい。 例えば、「様々な魅力あるご提案をされていますが、これら全てを採用しても価格は提示されている範囲に収まるのですか。」とか、「もしメーカーに採用された場合、デザインの修正や変更は要望等に応じて柔軟に対応していただけるのでしょうか。」とか、「ご提案のあった●●は、メーカーに採用された際には、導入可能という認識でよろしいのでしょうか。」といった質問例が挙げられる。 メーカーが説明していないことや読み取れないことは、「きっこうだろう」と評価をするのではなく、「こういうことですか」と聞いていただいた方がより正確な評価ができる。 ただいま事務局から説明があったが、皆様の方からご意見・ご質問等があれば挙手をしていただき、お話しいただきたい。 (意見等なし) これまでの会議、先程の説明を踏まえて、審査・採点評価をしていただければと思う。それではこの後、参加表明のあった各メーカーによるプレゼンテーションが行われるが、プレゼン参加者からの説明、検討委員会委員からの質疑となるので、議事の進行は事務局に引き継ぐ。 これより、プレゼンテーションを行うための準備を進めさせていただく。1番目のメーカー入室は、13時35分からとなる。
メーカーのプレゼンテーション	
委員長	【(株)トンボによるプレゼンテーション】 (プレゼンテーション終了後、質疑応答) 中学校と同様のもので、小学校1年生のサイズに対応することは可能か。

担当者	可能である。110センチから対応できる。
構成員	説明にあったプリント技術はトンボだけのものか。
担当者	トンボだけではない。プロスポーツ選手のユニフォームなどのデザインプリントにおいては主流の技術である。学校の体育着に取り入れたのはトンボが初めてである。
構成員	名前は入れられるか。
担当者	弊社独自の名前シールがある。貼ってから24時間で剥がれなくなる。
委員長	学年が上がって、シールを張り替えたい場合はどうなるのか。剥がすことはできるのか。
担当者	剥がすことはお勧めしない。跡が残る。記入は名前だけがよいと考える。
委員長	【ギャレックス(株)によるプレゼンテーション】 (プレゼンテーション終了後、質疑応答) SSはどのくらいのサイズなのか。中学校と同様のもので、小学校1年生のサイズに対応することは可能か。
担当者	SSは160センチである。小学生用は120センチから対応可能である。
構成員	防風タイプを選ぶと値段は上がるのか。
担当者	その通りである。
構成員	【(株)明石スクールユニフォームカンパニーによるプレゼンテーション】 (プレゼンテーション終了後、質疑応答) 価格はどのように変わってくるのか。
担当者	ベースのものに何を追加するのかによって変わってくる。例えば名前の刺繍を入れた場合は、1つあたり200円程度価格が上がることになる。

構成員	校章等マークを入れた場合は、３００円から４００円程度上乘せとなる。
担当者	Ｔシャツの吸水性はあるのか。UV カット機能も備えているのか。
委員長	吸汗・速乾性に優れた素材である。さらにノンアイロンできれいな状態に戻る。UV カット機能も備えている。
担当者	中学校と同様のもので、小学校１年生のサイズに対応することは可能か。
構成員	サイズ展開は３Ｓからとなる。小学校１年生には少し大きい、高学年から着られるサイズである。
担当者	透けない素材は値段に入っているのか。
担当者	入っている。値段は変わらない。
	【(株)カネマスによるプレゼンテーション】
委員長	(プレゼンテーション終了後、質疑応答) 中学校と同様のもので、小学校１年生のサイズに対応することは可能か。
担当者	サイズは１００センチから対応可能である。１５０センチ以下になると価格は下がる。大きいサイズは８Ｌまで対応可能である。
構成員	消臭素材はタグのようなものを縫い付けるのか。
担当者	その通りである。消臭タグは販売店において無料で差し上げるよう手配することができる。
構成員	お直しは、無料とのことだが期限はあるのか。
担当者	期限はない。
構成員	しばらく預けることになるのか。
担当者	その通りである。
構成員	特注となる大きいサイズの場合、値段は変わるのか。

担当者	その通りである。
事務局	各メーカーからのプレゼンテーションは以上である。これより採点表の最終記入時間とする。全体の振り返りや調整を行っていただき、記入を終えた方から、4者全ての採点表を回収する。記入を終えた方から適宜休憩とする。
集計結果発表・意見交換(審査講評)	
事務局	これより集計結果の発表を行う。事業者毎の評価平均点を発表した後、体育着・ジャージを作製するメーカーを発表し、その後、意見交換を行う。 まず、(株)トンボの評価平均点は、「84.7」点。 次に、ギャレックス(株)の評価平均点は、「58.9」点。 次に、(株)明石 S.U.C の評価平均点は、「81.7」点。 最後に、(株)カネマスの評価平均点は、「87.7」であった。 以上の結果により、評価平均点が最も高かった『(株)カネマス』が作製メーカーに決定とする。 (採点表返却・意見交換)
構成員	ジャージについてはもう少し薄い生地のものであるとよい。デザインは今日のサンプルとは変えてほしい。
構成員	お洒落なデザインにしたい。
委員長	次回、カネマスさんにはTシャツの素材を複数提案していただきたい。
事務局	11月の検討委員会では幅広くご提案いただけるよう調整する。
その他	
事務局	今回は、10月20日(月)、13時00分～17時00分を予定、場所は本日と同じ会場の第二庁舎3階教育委員会室を予定している。今回は通学カバンの選定プロポーザルを実施する。正式な開催案内は、すでに送付しているのでご確認いただきたい。参加申し込みのあったメーカーの数によって当日のタイムスケジュールが変動するため、資料は後日送付となる。 また、本日のプロポーザル結果については、10月初旬に全ての参加事

	業者に通知する。同時期にホームページ上にも公表する予定である。
(16：40 終了)	